



伊藤 文
議 員
世界ジオパーク認定を契機とした市活性化は

ジオパーク認定は活性化最後のチャンスでは

質問

糸魚川駅からの観光客目線での受入体制や、観光案内所などの整備状況と設置運営に

関する基本的考え方は。

また、新幹線開通前と開通後をにらんだ取り組みについてどのように考えているか伺う。

市長答弁

観光客目線で、糸魚川駅から観光案内所までの効果的な



古畑 浩一
議 員
北陸新幹線開業を目前として課題は

北陸新幹線推進と課題への対応策は

質問

北陸新幹線で、県が上越駅偏重の方針の強調や、並行在来線と大糸線の存続と活性化策など各種整備課題への対応

策をどう取り組むのか伺う。

市長答弁

県が上越駅偏重の方針を強調しているのに対して、県からは糸魚川駅を軽視しているのではないとの説明を受けている。

引き続き、県に対し糸魚川

誘導を、関係者との調整を行い、対応していく。

観光案内所などの整備・運営は、ジオパーク協議会で案内機能充実のため、本年7月1日までに設置し運営できるように、観光協会など関係者と調整している。

新幹線開通前後に必要な取り組みは、「世界ジオパークのまち糸魚川」としての受入体制の充実とジオパークの国内外への普及に取り組む必要がある。新幹線開通に向け、糸魚川ジオパークの認知度を高め、首都圏等から多くの観光客が訪れるように旅行会社

駅の重要性、北陸地方との接続の優位性を訴える。

並行在来線と大糸線存続の活性化に向けて、地域活性化・交流委員会で策定中の利用促進策をもとに、関係団体が連携して利用促進に取り組んでいく必要がある。また、大糸線は、ジオパークに関連した観光客の誘客により、活性化を図りたい。



への営業にも努めていく。

子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成は

質問

魚沼市が全国で初めて全額助成を決定し、本年6月1日から接種を開始している。

糸魚川市における子宮頸がん予防に対する取り組み状況と今後の見通しについて伺う。

市長答弁

子宮頸がん予防ワクチンの

糸魚川・大和川海水浴場の整備と渚再生は

質問

多くの海水浴客で賑わった糸魚川・大和川海水浴場が、著しい海岸浸食と施設整備の遅れから、往年の賑わいからは見る影もないが、交流人口拡大のためにも海の持つ魅力を最大限に発揮させる努力を伺う。

市長答弁

海岸浸食の原因として、姫川流域の砂防ダムの建設によ

助成は、今後、公費助成する方向で検討していく。

また、予防の取り組みとして、早期発見、早期治療のためのがん検診の必要性を周知し、受診率の向上を図りたい。



る土砂量の減少と姫川港の防波堤による沿岸流の変化によるものと考えられる。

観光協会には、市内延長約45kmという海岸線の中で、各地域の実状にあった海水浴場の活用を願いたい。

また、糸魚川・大和川海岸は糸魚川ジオパークの主要なジオサイトであり、ジオパークの活用の中でも併せて検討を進める。